

第103回日本選手権への出場 「感動の舞台でした」

写真：椛本結城、中野英聡

夏本番の8月。とはいえ暦の上では8日の立秋が過ぎた。立秋は秋に入る日だ。地域によっては異なるが、15日は月遅れ盆でもある。墓参りの人も多いだろう。こちらも月遅れのニュースだが、6月に福岡市で行われた第103回日本選手権の最終日(30日)にマスターズ・アスリートが出場、100mと1500mでベストを尽くした。今回が初の試みではなく、かつて実施されたことがあり、いわば復活の形。久々のマスターズ復活レースにスポットを当てた。

日本選手権出場者で 陸上経験者の内訳

マスターズが始まった6月30日は、午後2時30分頃から雨がぱらつく天候。1500mを皮切りに、100mと続いた。レース後の表彰はなく、記録証が手渡されたが、過去に日本選手権を体験した人からも、そうでない人からも「感動を覚えた」の声が聞かれた。

今回の出場者は男子43人(うち棄権1人)、女子33人の計76人。このうち陸上の経験者、そうでない人の内訳を見ると――。男子43人(100m17人、1500m26人)中、過去に陸上経験ありは18人(100m7人、1500m11人)。マスターズ入会から始めた人は14人(100m6人、1500m8人)、回答なし11人(100m4人、1500m7人)となっている。

女子は33人のうち陸上を何らかの形でやっていたのは、100m18人中14人、1500m15人中8人。マスターズ入会後が100m3人、1500mは市民マラソンなどを含めて4人、回答なしは100m1人、1500m3人。

29年前の高校生100mV 北井さん久々登場

今回は「往年の顔」が目立つ女子アスリートについて触れてみたい。

博多の森での日本選手権・女子100mで北海道・恵庭北高3年生の御家瀬緑選手が11秒67(+0.6)で初

優勝して注目された。高校生の優勝が29年ぶりというのが話題となったのだ。

ところで、本誌8月号に29年前に同じ高校生で日本一の女王に輝いた人がスタートラインに立った記事が載っている。その人は北井まどかさんが兵庫マスターズ所属の47歳。記事が重複するかもしれないが、もう一度登場させたい。

北井さんは現在、夫と子供4人(高1、中2、小6、小1)の6人家族。今大会ではW45・100mを同クラスでトップとなる13秒28(-0.6)でフィニッシュした。では29年前、兵庫の姫路商高3年生で出場した1990年の第74回日本選手権の100mは一。向かい風2.1mを突いて12秒02で走り、日本一の座に。

北井さんは旧姓・三木。インターハイの100mで1989、90年と2連覇。国体でもこの2年間に少年A100mで12秒51(-3.4)、11秒97(+0.7)で連勝し、さらには1990年の第11回アジア大会(北京)の代表となり、4位になった4×100mリレーで1走を務めた。

その後、中京大へ進み、活躍した後には25歳で第一線を退いた。100mのベストは11秒77(1989年)。44歳の2016年に兵庫マスターズに入会、12秒77で走った。高校生優勝の御家瀬選手のことに触れると「縁は異なるものと言いますが、何かの縁ですかね」



29年前の日本選手権高校生女王だった北井まどかさん(兵庫)が



W65・1000mの松尾真美さん(神奈川)は保育園の園長で小学

と、29年前の自らの姿とダブらせた。

久しぶりに走った日本選手権についての感想は「懐かしさでいっぱいでした」と感慨深げだった。

過去に輝いた一人に深尾真美さん(58歳・大阪)がいる。今大会はW55・1500mで5分30秒10。深尾さんは大阪の吹田六中のときに日本選

手権の800mと1500mで2位に食い込んだ逸材だった。薫英女学院高（大阪）では第61回日本選手権の3000mで9分47秒3の日本新で優勝。

卒業後、大体大で活躍後、三田工業へ入社。1985年の第69回日本選手権10000mのタイトルを取り、さらに名を高めたのが同年、神戸市で行われた第13回ユニバーシアード。マラソンで優勝して沿道の観客に感動を与えたのだ。深尾さんの優勝は日本勢で唯一の金メダルだった。

翌年にはソウルでの第10回アジア大会の10000mに出場。ここでは4位に。マスターズ陸上では常連の深尾さんだが、今回の日本選手権への出場については「感謝の一言です」。

W50・1500mで5分26秒50で走った今泉愛子さん（53歳・兵庫）は中学時代に光った人だ。旧姓は石原で、兵庫・魚住中2年時の1979年、第63回日本選手権で800mに出て、2分11秒5で3位につけた。翌年、中3での同選手権の800mは6位。数年前からマスターズ陸上の中距離を楽しんでいる。

ユニークな経歴を持つ女性アスリートたち

W50・100mを50歳のときに12秒99で走り、同クラスの日本記録保持者となっている宮田直美さん（茨城）は現在、54歳。10月1日で55歳になるが、博多の森では13秒24（-0.6）だった。学生のころの21歳で出した100m12秒4、走幅跳5m78がベスト。大学卒業後、スポーツとは無縁だったが、再び34歳からマスターズ陸上を始めた。45歳のときに12秒76とW45クラスの日本記録を。間もなくW55に上がるが「新たな気持ちで頑張ります」と燃えている。

ユニークといえば神奈川・葉山町の「葉山にこにこ保育園」園長である松尾真弓さん（66歳）だ。保育園園児およそ50人の園長と同時に、地元の小学生クラブである葉山キッズのコー

チも務める。今回の日本選手権ではW65・100mを15秒41（+0.1）で駆けた。「子供たちに夢と目標を、と思いいっぱい走りました」と笑顔。松尾さんは昨年10月、奈良市で行った国際ゴールドマスターズ大会のW65・60mで9秒39（-2.0）の日本新を出したほか、100mを15秒57（-0.7）の大会新、W55・4×100mリレーに66歳で出場、1走で力走し三冠を達成した。

過去の陸上経験といえ、1967年の中学生のとき、第20回東京都中学校地区対抗の100m12秒9がベスト。

第103回日本選手権 マスターズ出場者成績

※カッコ内数字は年齢、DNSは欠場

100m		
男子	▼M40	
	池野 正満 (44・石川)	11秒36 (+0.5)
	岡野 篤 (44・兵庫)	11秒37 (+0.5)
	大城 友喜 (41・沖縄)	11秒49 (+0.5)
	▼M45	
	赤堀 弘晃 (47・兵庫)	11秒38 (+0.5)
	伊藤進一郎 (47・三重)	11秒55 (+0.5)
	寺下 健治 (49・京都)	11秒65 (+0.5)
	▼M50	
	宮本 義久 (51・神奈川)	11秒54 (+0.5)
女子	▼W40	
	酒井あおい (44・愛知)	12秒86 (-0.6)
	齋藤 理恵 (44・北海道)	13秒49 (-0.6)
	浅井 紀子 (45・愛知)	13秒77 (-0.6)
	▼W45	
	北井まどか (47・兵庫)	13秒28 (-0.6)
	坂本美智世 (47・福井)	13秒40 (-0.6)
	田中 麻理 (48・東京)	13秒96 (-0.6)
	▼W50	
	宮田 直美 (54・茨城)	13秒24 (-0.6)
男子	▼M45	
	宮本 百合 (52・愛知)	13秒62 (-0.6)
	金子 葉子 (54・愛知)	14秒00 (-0.6)
	▼W55	
	八代香津子 (55・愛知)	14秒21 (+0.1)
	鈴木 美貴 (56・静岡)	14秒23 (+0.1)
	高橋 葉子 (60・神奈川)	14秒50 (+0.1)
	▼W60	
	有川 朝子 (64・京都)	15秒46 (+0.1)
	宮崎 明子 (62・長崎)	15秒49 (+0.1)
女子	▼W65	
	藤井 恵子 (66・鹿児島)	15秒01 (+0.1)
	中村 和代 (66・岩手)	15秒36 (+0.1)
	松尾 真弓 (66・神奈川)	15秒41 (+0.1)
	加藤 恵子 (66・和歌山)	16秒28 (+0.1)

1500m		
男子	▼M40	
	有馬 優仁 (42・東京)	4分15秒00
	近藤 直樹 (43・愛知)	4分16秒67
	入江 和義 (40・神奈川)	4分18秒94
	▼M45	
	竹中 泰知 (45・三重)	4分10秒20
	岩崎 照儀 (49・新潟)	4分19秒19
	桜井 史 (48・静岡)	4分23秒99
	長澤 勝利 (48・岐阜)	4分31秒59
	池田 昌雄 (45・愛知)	DNS
女子	▼M50	
	和田 宏 (50・京都)	4分29秒16
	古泉 辰男 (54・愛媛)	4分29秒57
	高橋 誠 (52・福島)	4分31秒72
	河野 光一 (50・山梨)	4分34秒35
	山下 智弘 (50・兵庫)	4分37秒91
	▼M55	
	仲本 智之 (56・神奈川)	4分41秒31
	滝口 直之 (56・神奈川)	4分43秒24
	下川 勝彦 (58・愛知)	4分47秒77
男子	▼M60	
	市川 武 (58・長野)	4分54秒14
	木村 英徳 (59・広島)	4分58秒15
	▼M65	
	中島 洋 (62・滋賀)	4分46秒25
	曾野 政男 (65・滋賀)	5分02秒55
	大田 英明 (61・鳥取)	5分04秒72
	本高 和弘 (61・鹿児島)	5分12秒55
女子	▼W65	
	谷 義夫 (66・茨城)	5分05秒39
	上田 十太 (67・山口)	5分13秒21
	下浜 岩男 (67・福井)	5分15秒54
	山根 定雄 (68・鳥取)	5分25秒67
	▼W40	
	山上 紀子 (41・愛媛)	4分49秒19
	堀本 真由 (41・和歌山)	4分54秒90
	坂川真由美 (42・愛知)	5分05秒28
	▼W45	
	森下 即子 (48・岡山)	5分03秒20
女子	▼W50	
	伊神佐登美 (50・滋賀)	5分04秒10
	塩見 志保 (47・鳥取)	5分44秒29
	▼W55	
	新城かおり (52・東京)	5分08秒83
	今泉 愛子 (53・兵庫)	5分26秒50
	甲斐 早苗 (52・徳島)	5分30秒12
	松本 陽子 (51・三重)	5分31秒07
	▼W60	
	谷 真美 (57・東京)	5分17秒77
男子	▼W65	
	深尾 真美 (58・大阪)	5分30秒10
	▼W60	
	中山 淳子 (61・愛知)	5分40秒71
	▼W65	
	堀 敏子 (69・福井)	6分28秒21
	松村 政子 (67・大阪)	6分51秒80